

令和3年 第9回帯広市教育委員会会議録

1. 令和3年4月23日 金曜日 16時～16時30分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 10階第6会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	池 原 佳 一
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	柳 川 久

3. 本日の議事日程

- | | |
|---------|--------------------------|
| 日 程 第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日 程 第 2 | その他(1) 帯広市議会3月定例会の報告について |
| | その他(2) 今後の事業予定について |
| | その他(3) 寄附受納について |
| | その他 |

池原教育長

ただ今から、令和3年第9回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、田中委員及び藤澤委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会3月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長

帯広市議会3月定例会における質疑のうち、私から学校教育部に関する質疑の概要についてご報告いたします。議案書1ページをお開きください。今回は代表質問5名中全ての議員より、一般質問は4名の議員より、予算審査特別委員会は11名中7名の議員より、議案審査特別委員会においては、3月2日及び3月24日の2日間において3名の議員から質問がございました。はじめに代表質問、大塚徹議員の質問中、小中学校の適正規模の確保と学校におけるアスベストの状況についての質問に対しましては、適正規模の進め方では、後期計画において基本方針に則り、検討が必要な学校を選定し、保護者などの意見を勘案する中で対応していくこと、アスベストの状況では、現在、国の基準に基づき適正に処理している旨を答弁しております。次に檜山直義議員の質問中、大空学園義務教育学校の帯広市の教育に果たす役割と教職員の働き方改革、多様な性に関する職員ガイドラインに関する質問に対して、義務教育学校においては、小中間の段差が緩和され、9年間を見通した教育課程の編成などの取り組み成果を他校に発信できること、教職員の働き方改革では、これまでの学校における取り組みにより、時間外勤務時間は減少しているほか、新たな制度である変形労働時間制について、校長会や教職員の意見を参考にしながら検討していくこと、多様な性に関する職員ガイドラインでは、このたび策定された帯広市の職員ガイドラインを学校にも情報提供し、教職員を対象とした研修を行うなどの取り組みを進めていく旨を答弁しております。次に藤澤昌隆議員の質問中、少子化・子育て支援に関する質問では、GIGAスクール構想の1人1台端末の活用においては、ICT機器の特徴を活かし、学びを深め自ら学ぶ環境を作り出していくこと、35人学級での市の取り組みでは、令和3年度より新たに小学校3年生において35人学級が実現され、より高い教育効果が期待できる旨を答弁しております。次に稲葉典昭議員の質問中、未来の担い手と「子どもの貧困」に関

する質問では、就学援助におけるクラブ活動費などについては、他都市等の状況を参考にしながら教育予算全体の中で検討すること、子どもたちの健やかな成長とアフターコロナでは、学校に整備するWi-Fiから出る電磁波について、国による電波防護指針に基づき、電波の強さが基準値を超えないよう取り扱っていく旨を答弁しております。次に稗貫秀次議員の質問中、学校教育環境の整備に関する質問では、35人学級の段階的な実現と小中学校の適正規模の確保への影響について、令和6年度までに小学校6年生までが35人学級となることから、適正配置には一定程度の影響があること、新型コロナウイルス感染症によって子どもたちへのストレスによる影響で、各学校では全教職員による相談体制を講じるとともにスクールカウンセラーや相談員と連携し、子どもたちの心に寄り添う指導を行う旨を答弁しております。次に議案書2ページ、一般質問では、大和田三郎議員の質問中、外部人材などの人材活用の考え方では、ICTの活用時など、地域や外部の方との対話を通して学びを深めていくことは重要であり、おびGIGA支援員などを活用し、効果的・効率的な支援体制を整えていく旨を答弁しております。次に杉野智美議員の質問中、コロナ禍の子どもたちの今では、臨時休業に伴う子どもたちの心身への影響については、教職員に加え、スクールカウンセラーや相談員などによる相談体制を整え、学習支援や心のケアに努めてきたこと、GIGAスクール構想でのソーシャルメディア等を使う上での配慮について、使い方によっては、人の心を傷つけたり、犯罪に巻き込まれる可能性があることから、発達の段階に応じた教育を行うことが大切である旨を答弁しております。次に清水隆吉議員の質問中、教育環境、おびひろ市民学については、教育委員会・学校・関係団体が連携し、帯広ならではの特色ある教育プログラムとして根付かせていくことが大切である旨を答弁しております。次に小森唯永議員の質問中、学校給食費の無償化等の考え方に関する質問では、法に基づき食材の購入に要する経費は保護者に負担していただくとともに、経済的に困窮している家庭に対しては、就学援助などにより支援していく旨を答弁しております。このほか、3から4ページ、予算審査特別委員会及び議案審査特別委員会での質疑について、それぞれ記載のとおり質問があったところでございます。学校教育部に関する報告は以上であります。

藤原 課長

続きます。生涯学習部に関する質疑の概要についてご報告いたします。議案書1ページをお開きください。今回、代表質問は1名の議員より、一般質問は4名の議員より、予算審査特別委員会は9名の委員より、3月2日の議案審査特別委員会は1名の委員より質問がございました。はじめに代表質問、稗貫秀次議員の質問中、生涯現役社会を創造する地域社会のあり方に関する質問では、それぞ

れの目的やライフステージに応じ、学習を通じて身に付けた 知識や経験をまちづくりや地域活動に活かす取組みが広がりつつあり、今後も高齢者の方にも関心を持っていただき、スキルを身に付けたいという層への啓発を目的とした講座に取組む必要がある旨の答弁をしております。また、全世代に向けた学習活動の充実に関する質問では、市民大学講座のオンライン受講の取組みのほか、優先順位を付けながらの計画的な生涯学習施設の整備や機能拡充の必要性について答弁しております。次に議案書 2 ページ、一般質問では、西本嘉伸議員の質問中、帯広市の文化遺産保護の現状と課題では、アイヌ民族の歴史と文化の理解促進に関し、帯広市第三期アイヌ施策推進計画に基づく取組みのほか、百年記念館の常設展示室デジタルコンテンツ制作や緑ヶ丘公園の社会教育施設を活用したアイヌ文化ふれあいゾーンの形成事業を予定している旨を答弁しております。また、無形文化財と無形民俗文化財の登録制度に関し、帯広市ならではの文化的所産の有無の把握に努める必要がある旨を答弁しております。次に上野庸介議員の質問中、歴史を大切にしまちづくりでは、個別の歴史や文化を結び付けるストーリー性をもったグランドデザインのもと継続的な取組みに関し、歴史的資源のストックや継承の可能性など、どのように取組むことが適切か研究してまいりたい旨の答弁をしております。次に鬼塚英喜議員の質問中、市民が幸せを感じる緑のまちづくりでは、市内のパークゴルフ場の管理と使用のルールに関し、指定管理者と地域の同好会との市民協働による管理をしていること、使用のルールは条例や規則による定めのほか、草刈作業時の危険防止の観点から週 1 回定休日を設けている旨の答弁をしております。次に清水隆吉議員の質問中、アフターコロナを見据えてでは、図書館に係る政策提言に関する新年度予算への反映に関し、移動図書館バス「ナウマン号」のステーションとして市役所正面ロータリーなどを新たに加えるほか、T w i t t e r による情報提供、W i - F i 及び電子書籍の維持管理費用について計上している旨の答弁をしております。また、学校開放事業の実施見込に関し、市内の感染状況や他都市の実施状況、学校行事の対応などを参考に、新年度の早い時期の再開に向けて、可能な限り早期に判断したい旨の答弁しております。このほか 3 から 4 ページ、予算審査特別委員会及び議案審査特別委員会での質疑について、それぞれ記載のとおり質問があったところです。生涯学習部に関する報告は以上であります。

池原教育長
佐々木委員

これから質疑に入ります。

榎山議員からの質問の中で、子どもの権利条約というのは、どのような質問だったのでしょうか。もし、聞き逃していたら申しわけないのですが。

- 服部 室長 今回の質疑項目につきましては、事前に議会に議員の方から通告する中身をそのまま記載させていただいております。実際に答弁調整をしていく中で、子どもの権利条約につきましては、結果的にほとんど質問がなかったものでございます。言葉足らずで申しわけございません。
- 佐々木委員 ありがとうございます。
- 田中 委員 檜山議員のところで、私も1点だけ伺いたいと思います。教職員の働き方改革、変形労働時間制について、現在、検討しているというお話だったと思います。檜山議員としては、変形労働時間制を採用してほしいという意味での質問だったのでしょうか。
- 山下 室長 檜山議員の趣旨としましては、まず、国で法律ができて、北海道では昨年12月に条例が成立したことを受けまして、帯広市が道の条例の制定を受け、どのような動きになるのかという確認の質問でございました。檜山議員としては、支持母体の関係もあるわけですが、この時点では、今後の考え方を答弁したまでに留まっております。こちらとしては、内容について教職員に諮った上で、丁寧に進めていかなければならないと考えております。今後、校長会や教職員の意見を参考にしながら、検討していくという答弁をさせていただきます。
- 田中 委員 わかりました。
- 藤澤 委員 杉野智美議員から動物園アニマルウェルフェアの質問があったようですけれど、どのような受け答えをしているのかお聞きしたいのと、もう1つ、指定管理者、とかちプラザの再支援と記載がされておりますけれど、内容について教えていただきたいと思います。
- 葛西 参事 とかちプラザの再支援につきましては、昨年1年間、コロナウイルスの影響で施設を閉めたり、利用人数が減ったことで、使用料が減っている部分について、12月の補正予算で体育施設すべての館の支援をしております。その時は見込みの数字で支援をしましたが、さらに3月の時点でもう一度精査した上で、とかちプラザについては、12月補正の段階よりも、さらに利用収入が低かったため、再支援が必要だということで、補正予算で上げております。他の施設はそういうことはなかったもので、ここだけがクローズアップされたということです。
- 井上 部長 動物園の件につきましては、ここに書かれてあるとおり、動物福祉について、どのような対応をしているのかという質疑があったということでございます。特に特別な話に及んだという記憶はなく、杉野議員が旭山動物園の元園長にお話を聞いたという流れから、動物園のアニマルウェルフェアについて質問があったということです。
- 藤澤 委員 ありがとうございます。
- 池原教育長 他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（２）今後の事業予定についてを議題といたします。
直ちに説明を求めます。

服部 室長

学校教育部の今後の事業予定の主なものについてご報告いたします。議案書５ページでございます。まず、企画総務課からは、帯広市立中学校の各校で行われる体育祭につきまして、現在５月下旬の開催に向け調整を進めているところですが、新型コロナウイルス感染症対策の関係もあり、観戦の在り方や開催日について、各学校で検討いただいているところであります。次に学校教育指導課では、全国学力・学習状況調査を５月２７日木曜日に小学校６学年、中学校３学年で行われるものです。学校教育部からは以上です。

藤原 課長

続きまして、生涯学習部からご説明いたします。はじめに、議案書６ページ、生涯学習文化課では、帯広市民大学２講座をご覧の日程で予定しております。次に７ページ、図書館では、市民文藝第６１号作品募集を５月１日から８月３１日までの期間で受付いたします。また、５月２１日から２７日までの特別整理期間による休館に先立ちまして、本の貸出拡大を５月７日から５月２０日まで行うほか、市内中学校の体育祭の振替休日となる５月３１日を臨時開館いたします。次に児童会館では、５月１日、２日、５日にこどもウィークおびひろ２０２１を開催するなど、ゴールデンウィークや土日に関し、ご覧のとおり多くの催しを開催いたします。次に百年記念館では、５月２２日に、「アイヌ語で自然かんさつ」と題した自然観察会を開催します。次に１１ページ、動物園では、５月９日、１６日、２９日に中学生以上・親子・小学生を対象とした飼育体験を開催します。最後にスポーツ課では、帯広市健康スポーツ推進委員会総会などの会議について、ご覧の日程で開催を予定しておりましたが、書面による開催へ変更となりましたので、ここで訂正させていただきます。生涯学習部からは以上でございます。

池原教育長

これから質疑に入ります。

藤澤 委員

全国学力・学習状況調査は、去年は学校で独自に実施し、自校集計と記載されていますけれど、自校で集計したのみで、他校との比較などは一切していないのか、状況について教えていただきたいと思えます。

高橋 課長

今、お話にございましたとおり、各学校で実施をしまして、各学校の先生方で採点しました。あくまでも参考値という扱いになりますので、調査を受けた子どもたちの実態把握のために活用するということで、他校との比較はしてございません。

藤澤 委員

ありがとうございます。

池原教育長

他になれば質疑を終結し、本件を終了します。

その他（３）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長

学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書は13ページからでございます。企画総務課担当分として、市立小学校26校の新1年生1,331名の生活環境の充実を図るため、株式会社市川組様より、牛乳贈答券200円券3,993枚をご寄附いただいております。学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住者の方205名より279万3千円をご寄附いただいております。また、学校教育課担当分として、ガス機器の安全使用及び安全機器への取替促進のため、帯広ガス株式会社様より、ガステーブルコンロ99台をご寄附いただいたほか、学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究に役立てるため、市外在住の方49名より63万6千円をご寄附いただいております。学校教育部からは以上でございます。

藤原 課長

続きまして、生涯学習部に関する寄附についてご報告いたします。議案書は14ページからでございます。はじめに、生涯学習文化課では、風土に根ざした文化の振興のためとして、市外在住者の方27名より、40万5千円をご寄附いただいております。次に図書館では、図書資料充実のためとして、市内及び市外在住者の方27名より51万円をご寄附いただいております。次に15ページ、動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、生活協同組合コープさっぽろ様より140万6千円、市外在住者の方30名より44万9千円をご寄附いただいております。最後にスポーツ課では、スポーツ振興のためとして、千葉県松戸市在住の〇〇〇様より2万9千円、株式会社成井様より20万円、市外在住者の方21名より30万3千円をご寄附いただいております。生涯学習部からは以上でございます。

池原教育長
柳川 委員

これから質疑に入ります。

生涯学習部の寄附のうち、他の部分は目的がわかるのですが、風土に根差した文化の振興というのは、例えばどのような使い道があるのか教えてください。

藤原 課長

こちらの基金の使用としましては、主に市内の文化活動団体への支援などに活用してございます。

柳川 委員

ありがとうございます。

藤澤 委員

ガステーブルコンロ99台というのは、新品なのか、リースの切れたものをそのまま寄贈いただいたのか、教えてください。

高橋 課長

今回のガステーブルコンロにつきましては、現在設置してある機器を新品に交換していただくものでございます。5月末までにすべての学校で交換が済む予定です。今回の入れ替えの中で一番古いものは40年を経ているものもあり、古いものを含めた99台を交換いただけるということです。設置場所についても、家庭科室を始めとして理科室や職員室など、各学校の状況に応じて設置いただくこと

になっております。

藤澤 委員

ありがとうございます。

田中 委員

牛乳贈答券をいただいたということですが、どのような扱いをされたのかお聞きしたいと思います。

佐藤 課長

こちらの牛乳券につきましては、1人あたり3枚、600円相当を配付しております。3月中に各学校に届けまして、4月8日の入学式の際に保護者の方にお渡しし、活用いただくようにしております。

田中 委員

ありがとうございます。

池原教育長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局

ございません。

池原教育長

事務局からは特にはないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各委員

ありません。

池原教育長

別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了しました。

これもちまして、令和3年第9回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。